

事務事業名	峡中地区心身障害児適性就学協議会参画事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12125				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	南アルプス教育推進課	課長名	飯窪 俊貴				
			所属担当	教育指導担当	担当者名	小林 智奈美				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	23	学校教育の充実	事業区分	01	一般	10	01	02	020	60
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)		<input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> その他の事業		<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金
法令根拠			学校教育法施行令第18条の2							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
	心身に障害のある児童及び生徒の適切な就学を図る為に、中巨摩就学指導協議会を設置して心身障害児の障害の種別・程度の判定、就学相談・指導等を行う。		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
			負担金	90						
						計		90		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 関係市町村より提出される児童生徒等の障害に関する審査依頼に基づき、教育支援協議会より教育支援推進委員会に諮問し答申を受け 27年度活動予定 関係市町村より提出される児童生徒等の障害に関する審査依頼に基づき、教育支援協議会より教育支援推進委員会に諮問し答申を受け	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称 ア 適正就学協議会開催 イ ウ	単位 回
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	心身に障害のある児童及び生徒。(特別支援学校に就学を検討している児の保護者)	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称 ア 児童・生徒 イ ウ	単位 人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	心身に障害のある児童及び生徒の適切な就学を図る。医学的、専門的な進路指導を行っていただく。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 ア 児童・生徒 イ ウ	単位 人
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	バランスの取れた支援を受ける。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 ア 児童・生徒 イ	単位 人

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	千円							
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	92	79	90	90	90		
	事業費計(A)	千円	92	79	90	90	90	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2	1	1		
	延べ業務時間	時間	240	250	240	240	240		
	人件費計(B)	千円	1,092	1,138	1,092	1,092	1,092	0	0
	(A)+(B)	千円	1,184	1,217	1,182	1,182	1,182	0	0
活動指標	ア	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	人	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
	イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	心身に障害のある児童及び生徒の適切な就学を図る為に昭和53年に運営要項が制定された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平成14年の学校教育法施行令等の改正による特別支援教育の推進が図られている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	保護者から年々、地元の学校での就学との要望が増加してきている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	協議会の意見により適正な就学を図るため現状の体制で充分である。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	特になし。

事務事業名	峡中地区心身障害児適性就学協議会参画事業	所属部	教育委員会	所属課	南アルプス教育推進課
-------	----------------------	-----	-------	-----	------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 心身に障害のある児童・生徒に対し、就学指導委員会で相談・指導を行うことにより、一人一人のニーズにあった教育を行うことができる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 教育委員会は、就学予定者に就学させるべきものについて、その保護者に小学校又は中学校の入学期日を知らさねばならない。その為に、障害のある児童生徒の適切な就学を図る為、就学指導協議会を設置し、相談・指導・判定をおこなわなければならない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 中巨摩地区で、設置している協議会であるため。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 中巨摩地区で、設置している協議会であるため。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 特別支援教育が重視されている中、適切な就学指導ができなくなることから、この事業の休止・廃止はできない。左に同じ。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 中巨摩地区で協議会を設置しているため、
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 さらに充実した就学指導協議会の充実した機能をもたせるためには人件費の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 全ての国民は、教育を受ける権利があるために、その能力に応じた教育を受ける機会を与えなければならない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	インクルーシブ教育の制度が法改正とともに実際の学校現場における対応もしていかなければいけない。今後、特別支援学校へ就学する児童生徒のみの諮問委員会として機能させるのではなく、保護者と学校・市教委の3者の合意形成が図る上での、助言をいただける機能を持つていく必要性が出てきている。今後、中巨摩地区の教育委員会担当者と検討していかなければと考えている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 中巨摩地区の教育委員会と現状の問題点について意見交換や検討の場を設けること。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 現状維持を行う中で、改善できる点等があれば具体的な対策を立てる。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑫																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					